

## 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種のご案内

**予防接種で肺炎球菌感染症を予防しましょう**

この案内は、満65歳の方で、立川市にこれまでに肺炎球菌ワクチンの接種記録がない方に送付しています。定期接種として接種を受けることができるのは66歳になる誕生日の前日までです。

この期間を過ぎると任意接種扱いとなり、全額自己負担となりますのでご注意ください。

○接種料金の一部を立川市が負担します。

○肺炎球菌は毒性が強く、高齢者や呼吸器疾患、心疾患を有する方が感染した場合、しばしば種々の合併症を併発し、重篤となる場合があります。この予防接種は義務ではありません。ワクチン接種の効果とリスクをお考えの上、ご納得いただいた場合に限り接種を受けてください。

実施場所

**別紙の「予防接種実施医療機関一覧」にて**

※必ず事前に各医療機関にお問い合わせください。完全予約制の場合があります。

持ちもの

当日、医療機関にお持ちいただくもの

- ① 同封の「予診票」      ② 身分証明書（マイナンバーカード、運転免許証等）

費用

ご負担額 **6,000 円**      (税込み。医療機関でお支払ください)

◎上記金額は令和8年度内(令和9年3月31日まで)の負担額です。令和9年4月以降ワクチンの変更等の理由で、自己負担額が変動する可能性があります。

◎生活保護世帯と中国残留邦人の方には免除制度があります。「受給証明書」を医療機関窓口にお持ち下さい。証明書の発行は、立川市役所内/生活福祉課（生活保護の方）、または福祉総務課（中国残留邦人の方）で行います。

期 日

**66歳誕生日前日まで**

※医療機関の休診日等にご注意ください。

お受けになる前に、必ずお読みください

# 肺炎球菌と予防接種

## 1. 肺炎球菌感染症とは

肺炎球菌感染症は、肺炎球菌に感染することによって引き起こされる病気です。肺炎球菌感染症にかかった人の咳やくしゃみなどによって肺炎球菌が空気中に広がり、それを吸い込むことで感染します。日本人の約5～10%の高齢者では鼻や喉の奥に常在しているとされ、これらの菌が増殖して下気道や血流中へ侵入することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

なお、脾臓摘出術を受けた方は肺炎球菌に感染しやすいため、2歳以上の脾臓摘出患者に対する「肺炎球菌ワクチン接種」は健康保険が適用されています。

## 2. 肺炎球菌感染症の予防

予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。これは世界的にも認められている最も有効な予防法です。

肺炎球菌感染症は空気中に拡散された肺炎球菌によって感染しますから、感染予防のために人込みは避けましょう。また、常日ごろから十分な栄養や休息をとることも大切です。外出時のマスクや帰宅時のうがい、手洗いは、普通のかぜの予防と併せておすすめします。

## 3. 肺炎球菌ワクチン予防接種の効果

肺炎球菌には100種類以上の血清型があり、定期接種で使用される「沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)」はそのうちの20種類の血清型を対象としたワクチンです。

この20種類の血清型は、成人侵襲性肺炎球菌感染症(※)の原因の約5～6割を占めるという研究結果があります。

また、このワクチンは、血清型に依らない侵襲性肺炎球菌感染症を約3～4割程度を予防する効果があるという研究結果があります。

(※)侵襲性感染症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことをいいます。

## 4. 肺炎球菌ワクチン予防接種の副反応

注射部位にかゆみ、疼痛、発赤、腫長、軽い発熱、関節痛、筋肉痛などがみられることもありますが、通常は1～3日のうちに治ります。



## 5. 予防接種を受ける前に

### (1) 一般的注意

肺炎球菌ワクチンの予防接種について、この通知などをよく読んで、必要性や副反応についてよく理解しましょう。気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に、かかりつけ医や看護師、市の担当者に質問しましょう。十分に納得できない場合には、接種を受けないでください。

予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。接種を受ける方が責任をもって記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。

### (2) 予防接種を受けることができない人

#### ①明らかに発熱のある人

一般的に、体温が37.5℃を超える場合を指します。

#### ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人

急性の病気で薬を飲む必要があるような人は、その後の病気の変化が分からなくなる可能性もあるので、その日は見合わせるのが原則です。

#### ③ジフテリアトキソイドによってアナフィラキシーを呈したことがある人

#### ④肺炎球菌ワクチン予防接種をこれまでに定期接種で接種したことがある人

#### ⑤他の予防接種で接種後2日以内に発熱が見られた人および全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人

#### ⑥その他、医師が不適當な状態と判断した場合

### (3) 予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなくてはならない人

#### ①心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人

#### ②今までにけいれんを起こしたことがある人

#### ③今までに免疫状態を検査して異常（免疫不全）と診断されたことがある人

#### ④沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）の成分や、ジフテリアトキソイドに対してアレルギーを呈するおそれのある人

#### ⑤血小板減少症、凝固障害、抗凝固療法を受けている人

#### ⑤薬や食品でじんましんや発疹が出たり、口の中がしびれたりするなど、アレルギーがあるといわれたことがある人

## 6. 予防接種を受けた後で

### (1) 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 予防接種を受けた後 30 分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- ② 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- ③ 接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

### (2) もし体調が悪くなったら…

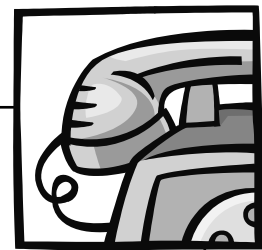
予防接種の後、まれに副反応（疼痛、筋肉痛、疲労、頭痛、関節痛、紅斑、腫脹等）が起こることがあります。また、頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシー、痙攣、血小板減少症紫斑病が見られることがあります。予防接種と同時に他の病気がたまたま重なって現れることもあります。

接種後に気になる症状がありましたら、医師（医療機関）の診察を受けてください。

**予防接種健康被害救済制度があります。**

予防接種では健康被害(病気になったり障害がのこったりすること)が起こることがあります。極めてまれですが、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについてはご相談ください。

その他、ご不明な点があれば、お気軽にお問い合わせください。



**立川市 保健医療部 健康推進課**

**☎ 042-527-3272**